

特別養護老人ホーム入所申込者調査結果

1 調査の概要

(1) 調査の目的

柏崎市では、令和5年度に介護保険事業の円滑な実施を目的として、第9期介護保険事業計画を策定します。策定に当たり、地域の介護サービスについて検討するため、特別養護老人ホームへの入所申込みをされている方を対象に、調査を行いました。

(2) 調査の対象と実施方法

調査対象者：柏崎市に住民登録のある特別養護老人ホーム申込者様全員

調査時期：令和5年（2023年）3月1日～3月31日

調査方法：郵送により調査票を配布

回答方法：次のいずれかの方法

ア 回答を同封の返信用封筒に入れて投函する。

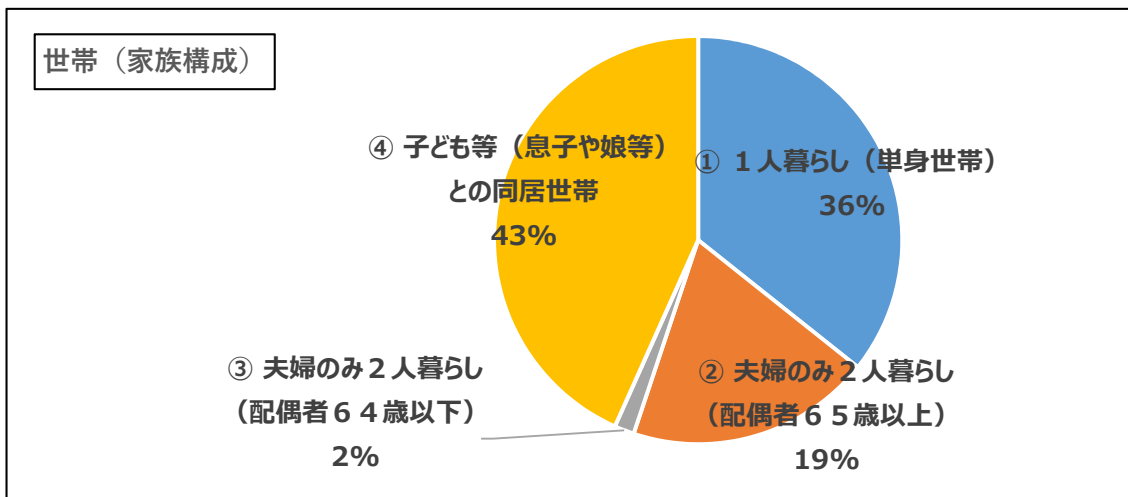
イ インターネットから回答する。

調査対象者数	有効回答数	(回答方法別回答数)	回答率
692 件	381 件	郵送：361 件	55.1%
		インターネット：20 件	

2 調査結果の概要

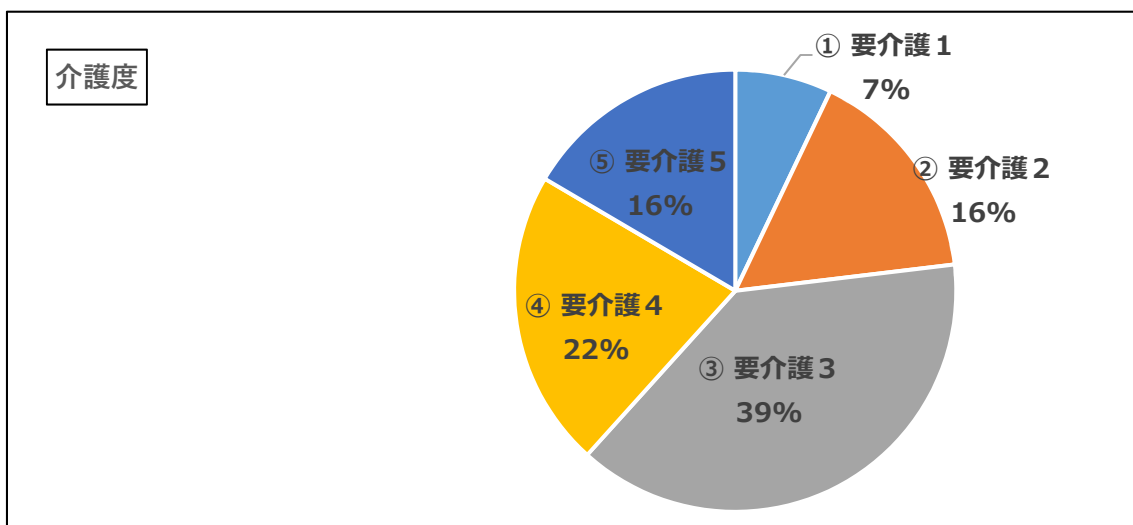
問1 入所申込者の世帯（家族構成）を教えてください。（1つに○）

① 1人暮らし（単身世帯）	136	（人）
② 夫婦のみ2人暮らし（配偶者65歳以上）	74	
③ 夫婦のみ2人暮らし（配偶者64歳以下）	6	
④ 子ども等（息子や娘等）との同居世帯	165	



問2 入所申込者の介護度を教えてください。（1つに○）

① 要介護1	27	（人）
② 要介護2	61	
③ 要介護3	147	
④ 要介護4	83	
⑤ 要介護5	63	

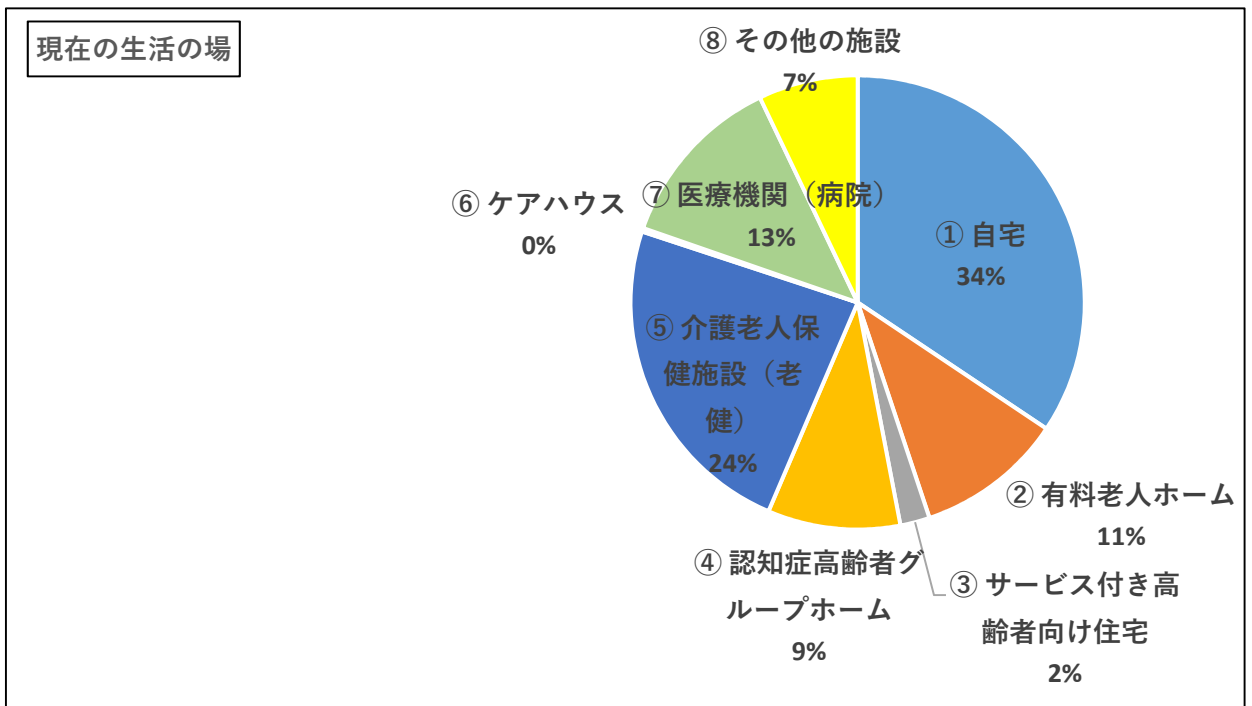


問3 入所申込者は、現在どこで生活していますか。(1つに○)

①自宅	131	(人)
②有料老人ホーム	40	
③サービス付き高齢者向け住宅	8	
④認知症高齢者グループホーム	36	
⑤介護老人保健施設(老健)	90	
⑥ケアハウス	1	
⑦医療機関(病院)	48	
⑧その他の施設	27	

↓

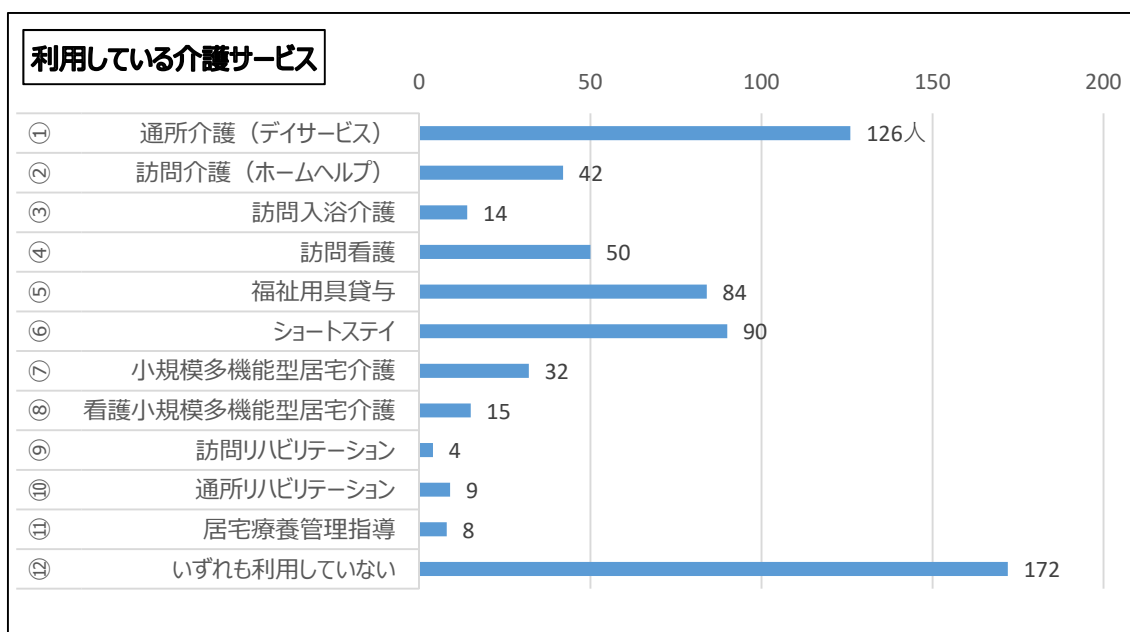
養護老人ホーム
息子宅、地域密着事業所まつみ
障害者支援施設
地域密着施設



・現在の生活の場は、自宅が 34%、次いで介護老人保健施設が 24%であった。医療機関、有料老人ホーム、認知症高齢者グループホームと続く結果であった。

問4 入所申込者は、現在どのような介護サービスを利用していますか。（すべてに○）

①通所介護（デイサービス）	126	（人）
②訪問介護（ホームヘルプ）	42	
③訪問入浴介護	14	
④訪問看護	50	
⑤福祉用具貸与	84	
⑥ショートステイ	90	
⑦小規模多機能型居宅介護	32	
⑧看護小規模多機能型居宅介護	15	
⑨訪問リハビリテーション	4	
⑩通所リハビリテーション	9	
⑪居宅療養管理指導	8	
⑫いずれも利用していない	172	



n=646 人（重複回答）

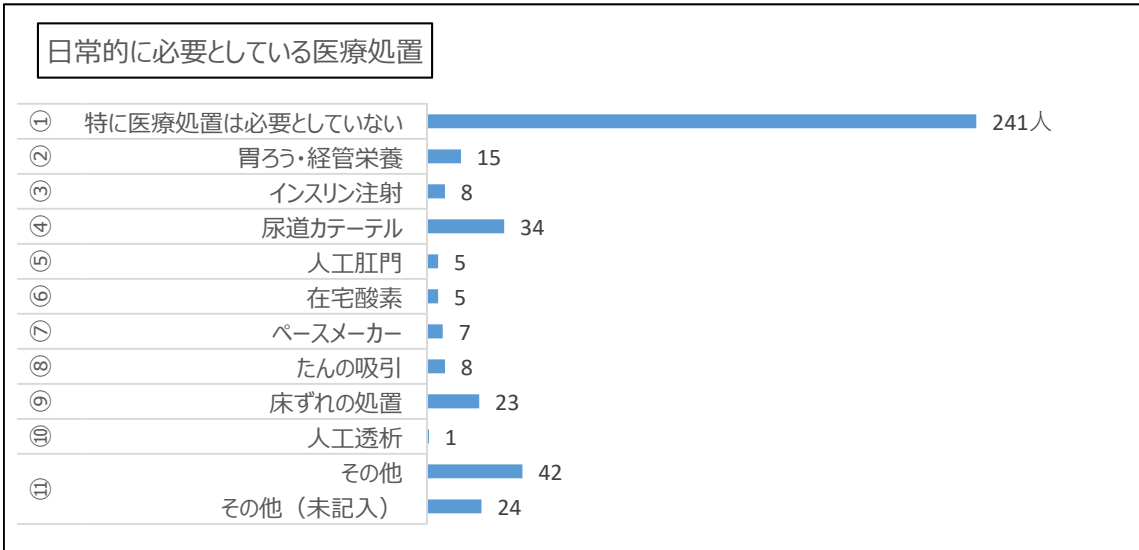
- ・「いずれも利用していない」と回答した人 172 人の大半は、入院中であつたり、老健や認知症高齢者グループホームといった入所系施設の利用者である。
- ・利用しているサービスとして、通所介護が 27%、次いでショートステイが 19%、福祉用具貸与が 18%、訪問看護が 11%、訪問介護が 9%であつた。
- ・⑦小規模多機能型居宅介護や⑧看護小規模多機能型居宅介護は回答が少なかったが、①や②に含まれていると思われる。

問5 入所申込者は、次のような医療処置を日常的に必要としていますか。（すべてに○）

①特に医療処置は必要としていない	241	(人)
②胃ろう・経管栄養	16	
③インスリン注射	8	
④尿道カテーテル	34	
⑤人工肛門	5	
⑥在宅酸素	5	
⑦ペースメーカー	7	
⑧たんの吸引	8	
⑨床ずれの処置	23	
⑩人工透析	1	
⑪その他	42	
その他（未記入）	24	

↓

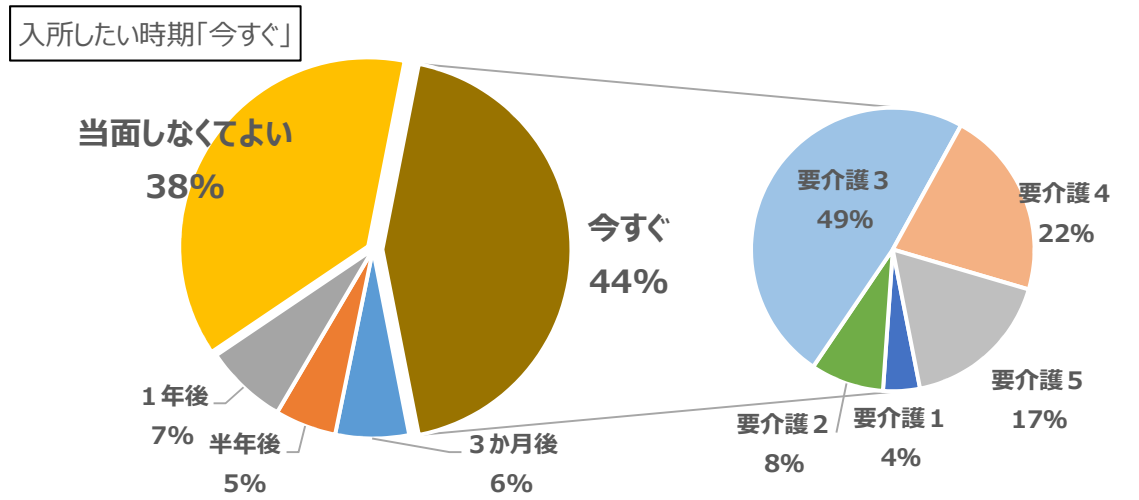
人工弁
パーキンソン
右足太股の三分の1を残して切断身体障害3級
尿の管が入っている
認知症の薬、認知症による見守り、介助
膀胱ろう
皮膚炎、口腔内処置、胃腸薬服用
隔週エンブレル皮下注
老健にてリハビリ、栄養管理、介護
緑内障で目が見えづらいので身の回りのこと、薬等。
投薬管理
骨折、リハビリ
骨粗しょう症プラリア注射治療、血圧降下剤アムロジピン OD錠5mg
輸血
インスリン注射をしていたが本人夫婦が行うには難しかったり副作用で断念
服薬（定期的に通院、認知症、骨粗しょう症、不整脈）
肺がん手術後の経過観察と認知症、不眠、高脂血症、頻尿などの通院と服薬。
色々な病気を持っていて毎月医療にかかっています。
多少の精神安定剤服用中。精神疾患
フォーレ取替（週2回）
高血圧、喘息
排尿、排便誘導
歩かない。



・回答者 381 人のうち、特に医療処置を必要としていない人は 241 人で、63%であった。37%は医療処置を必要としている。医療依存度の高い入所申込者については、施設側の受け入れ態勢が必要である。

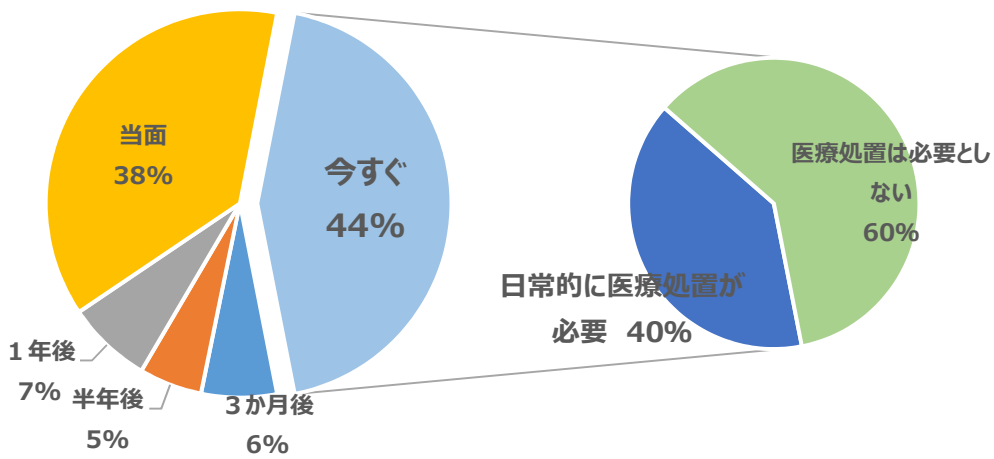
問6 入所申込者が、特別養護老人ホームに入所したい時期はいつですか。（1つに○）

①	今すぐ	167	214人
②	3か月後	24	
③	半年後	20	
④	1年後	27	
⑤	当面は入所しなくてよい	143	



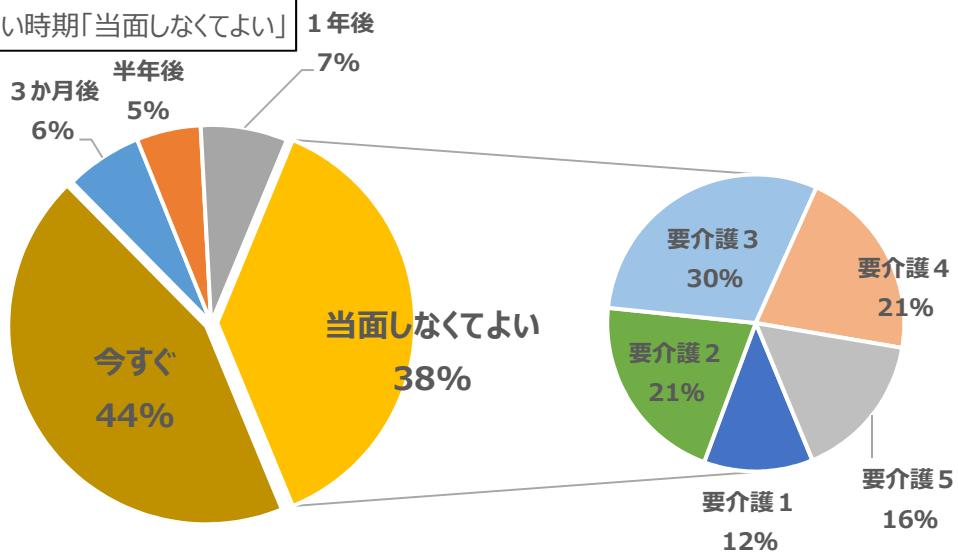
・「今すぐに入所したい」が 44%と多い反面、「当面入所しなくてもよい」も、38%である。
 ・「今すぐ入所したい」のうち、要介護 3 が 49%と最も多く、次いで要介護 4 が 22%、要介護 5 が 17%であった。

今すぐ入所したい方と医療処置の関係



・今すぐ入所したいと回答した方 167 人のうち、日常的に医療処置を必要としている人が 66 人、40% であることがわかった。

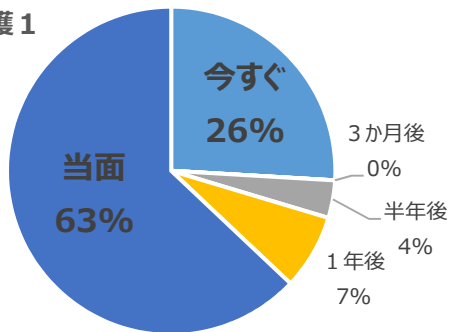
入所したい時期「当面しなくてよい」



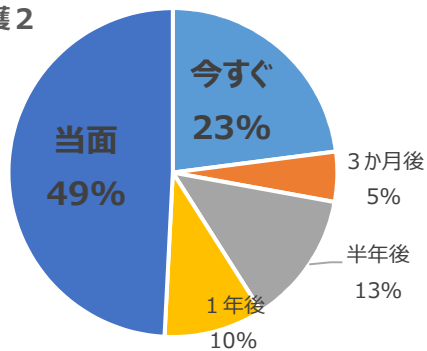
・「当面入所しなくてよい」のうち、要介護 3 が 30%と最も多く、次いで要介護 4 と要介護 2 が 21%、要介護 5 の方も 16%が当面入所しなくてよいと回答している

「介護度別」入所したい時期

要介護 1

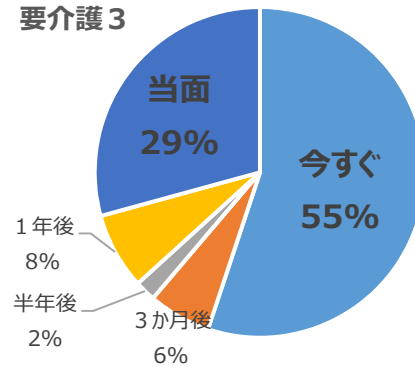


要介護 2

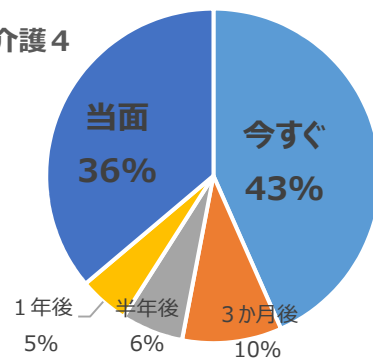


特列入所対象者

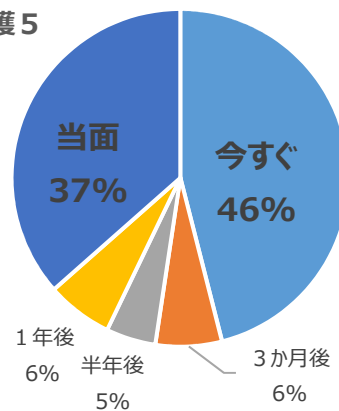
要介護 3



要介護 4



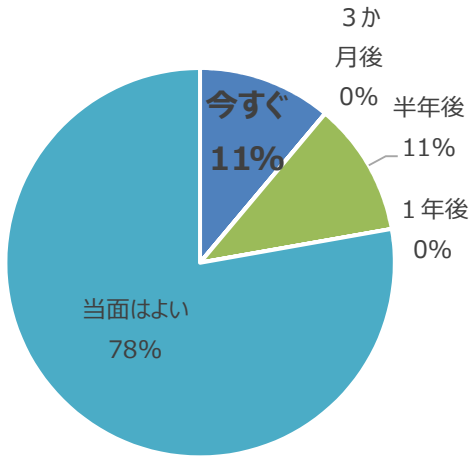
要介護 5



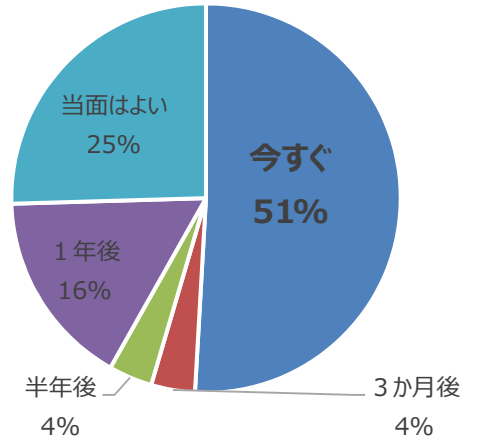
・介護度別にみると、要介護 1 の場合、今すぐ入所したいが 26%、当面は入所しなくてよいが 63%であった。要介護 3 の場合は、今すぐ入所したいが 55%、当面入所しなくてよいが 29%であった。要介護 5 では、今すぐ入所したいが 46%で、当面入所しなくてよいが 37%という結果であった。

「介護度別+自宅生活」と入所したい時期の関係

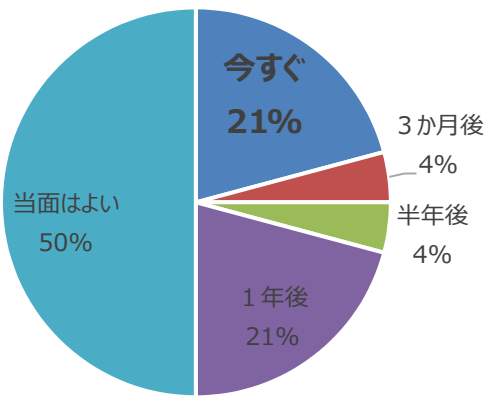
要介護1(自宅)



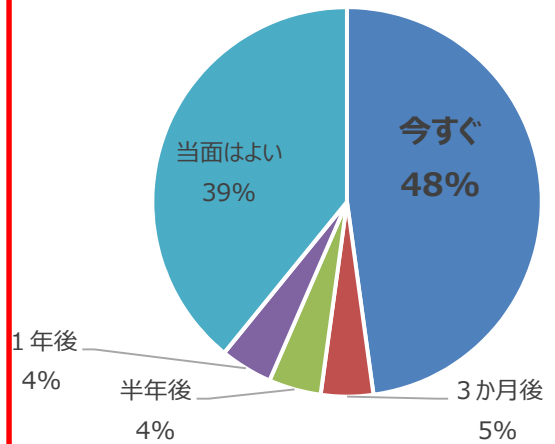
要介護3(自宅)



要介護2(自宅)

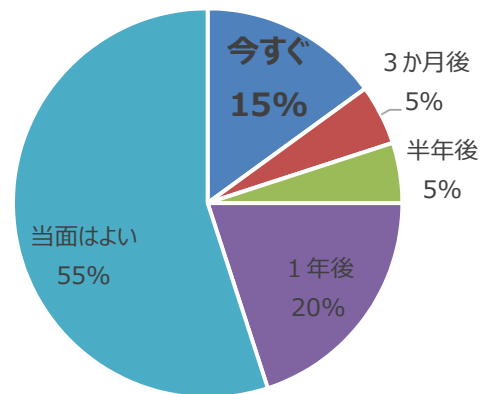


要介護4(自宅)

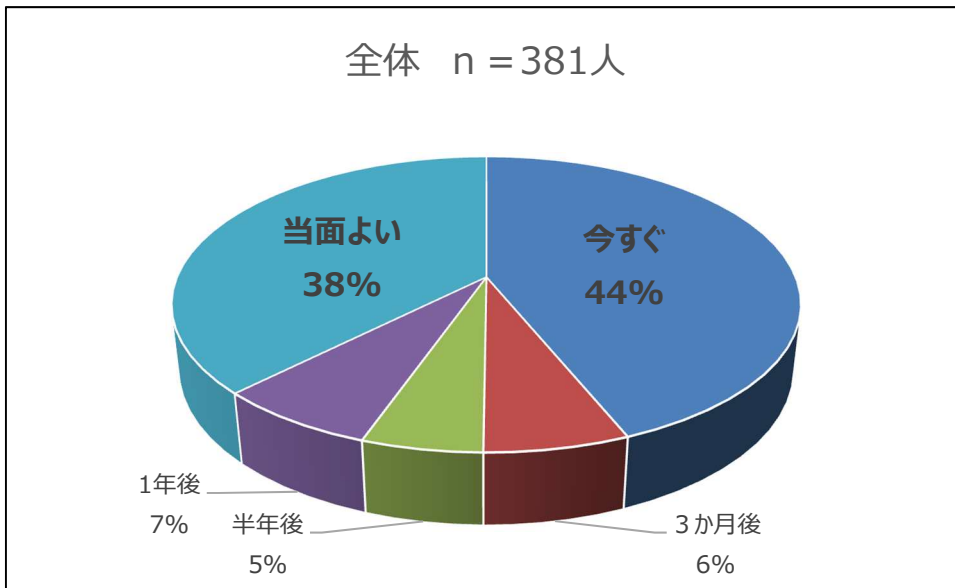


特例入所対象者

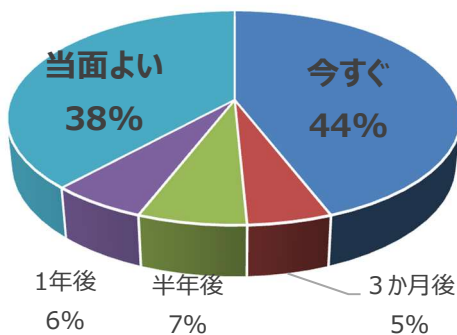
要介護5(自宅)



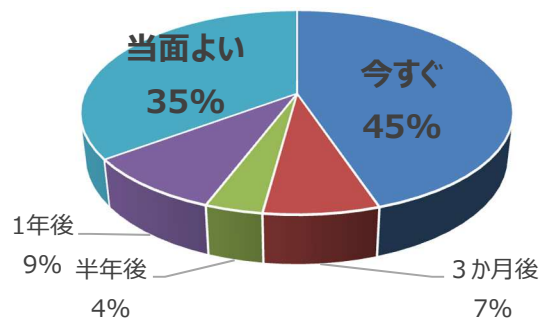
世帯構成と入所したい時期の関係



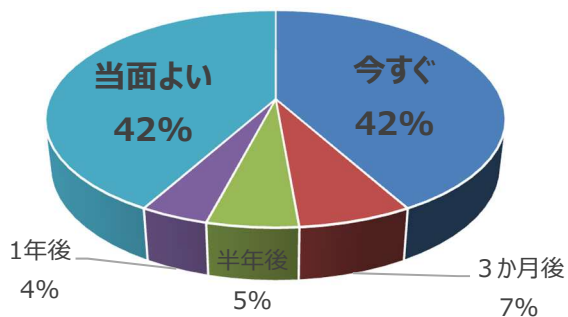
1人暮らし n = 136人



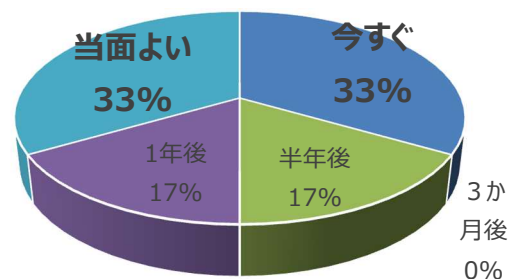
子ども等との同居世帯
n = 165人



夫婦のみ（配偶者65歳以上）
n = 74人



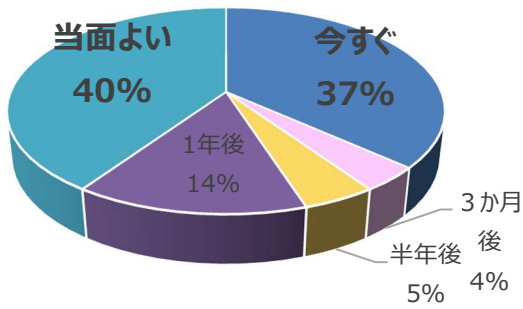
夫婦のみ（配偶者64歳以下）
n = 6人



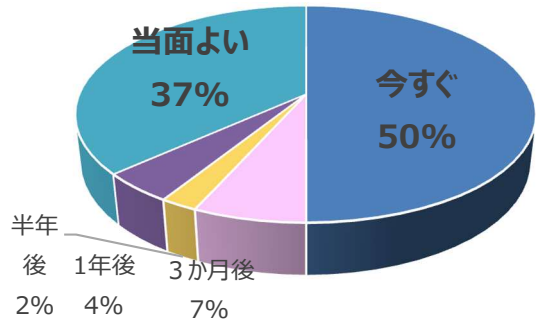
・世帯構成別に入所したい時期をみると、どの世帯構成も「今すぐ入所したい」との回答は50%に満たない結果であった。「当面入所しなくてよい」との回答も33%~42%あり、どの世帯構成も全体集計と同様の傾向であり、世帯構成による入所したい時期に顕著な違いはみられなかった。

現況と入所したい時期の関係

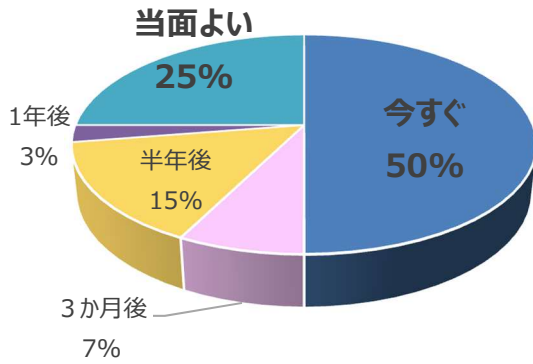
自宅 n=131人



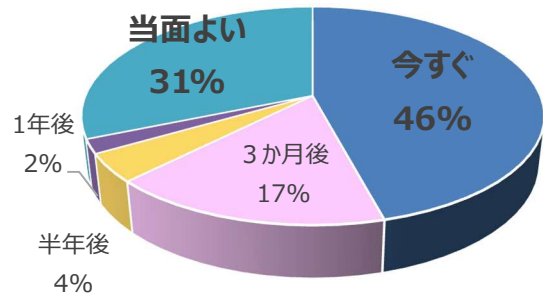
介護老人保健施設 n = 90人



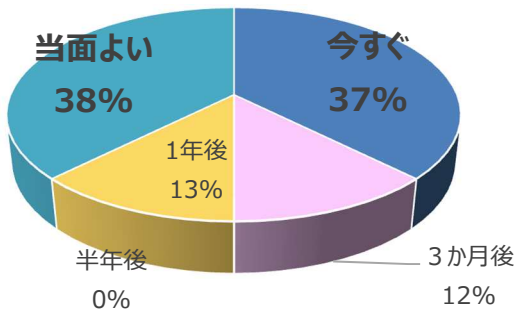
有料老人ホーム n = 40人



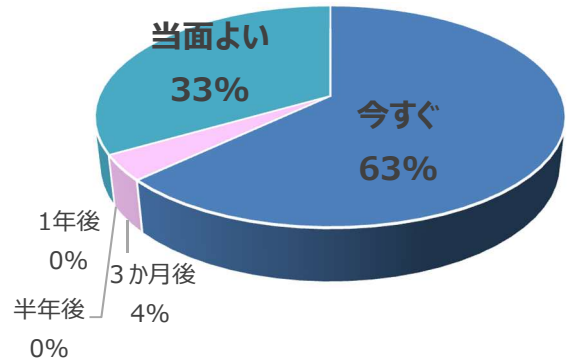
医療機関（病院） n = 48人



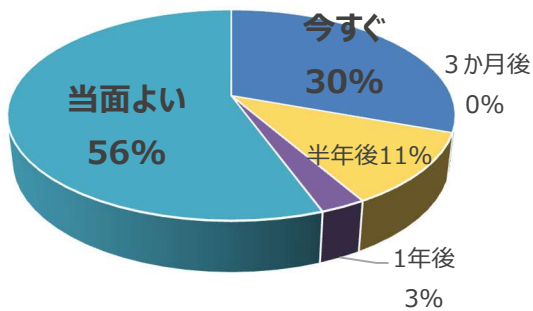
サービス付き高齢者向け住宅 n = 8人



その他の施設 n = 27人
※養護老人ホーム・障害者支援施設



認知症高齢者グループホーム n = 36人



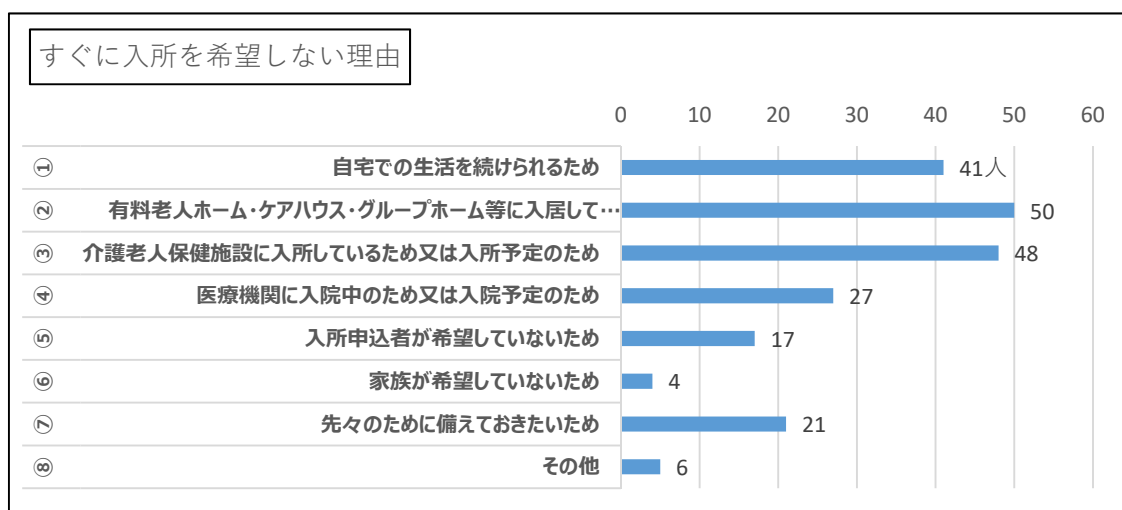
・現況別に入所したい時期をみると、その他の施設を除き、「今すぐ入所したい」との回答が有料老人ホームと介護老人保健施設が 50%と高く、次いで医療機関が 46%であった。これに対して、自宅やサービス付き高齢者住宅は 37%、認知症高齢者グループホームは 30%に留まった。「当面入所しなくてよい」との回答は、認知症グループホームが 56%、次いで自宅が 40%という結果であった。

問7 問6で②～⑤と答えた方 今すぐに入所を希望しない理由を教えてください。

①	自宅での生活を続けられるため	41	(人)
②	有料老人ホーム・ケアハウス・グループホーム等に入居しているため又は入居予定のため	50	
③	介護老人保健施設に入所しているため又は入所予定のため	48	
④	医療機関に入院中のため又は入院予定のため	27	
⑤	入所申込者が希望していないため	17	
⑥	家族が希望していないため	4	
⑦	先々のために備えておきたいため	21	
⑧	その他	6	

↓

コロナが終息して面会ができるまでは我慢。
尿道カテーテル挿入中は入所困難と言われたから。(本当は今すぐにでも入所したいが)
老老介護のため。(主となる介護者も通院中のため)
介護者が介護できなくなったとき。
グループホームにいられなくなったとき。



・今すぐに入所を希望しない 214 人のうち、「自宅での生活を続けられる」と回答した方が 19%、入所型のサービスを利用している又は利用予定の方が 46%、入院中又は入院予定の方が 13%であった。

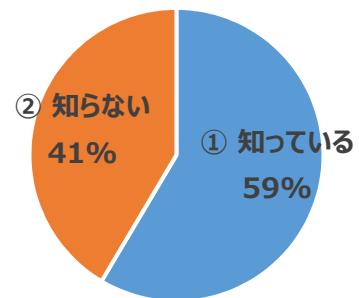
・入所申込者や家族が希望していない、先々のためとの回答は、20%であった。

・先々に備えておきたいためと回答した方のうち 42%は要介護 1・2 の方であった。

問8 入所意向や要介護度、家族の状況に変化があった場合「変更届」「辞退届」を施設に提出できる

ことを知っていますか。(どちらかに○)

①	知っている	223	(人)
②	知らない	158	



・入所を望んでいるが、申込者の状況や情報が施設に届いていない方が多い。今回の調査をきっかけに、積極的に変更届を活用してほしいねらいがあった。変更届や辞退届について知らなかったが、41%であった。

3 考察とまとめ

・申込者の介護度は、要介護3が最も高く39%で、要介護1・2の特例入所対象者が23%であった。これは、令和5年2月17日現在の特養入所申込者集計と同様の結果である。

当市は、特例入所対象者の全体に占める割合が大きい。特例入所対象者が、今すぐに入所したいと考えているかという、今回の調査結果から要介護1では、26%、要介護2では23%に過ぎず、必ずしも高くない。当面利用しなくてよいとの回答は、要介護1では、63%、要介護2は49%という高い数値であった。

・利用している介護サービスについて、通所介護が27%、次いでショートステイが19%、福祉用具貸与が18%、訪問看護が11%、訪問介護が9%であった。小規模多機能型居宅介護や看護小規模多機能型居宅介護は、通所を中心に訪問系や宿泊系を組み合わせていることから、通所介護や訪問介護、ショートステイに含まれていると予想できる。

・医療処置については、37%が日常的に必要としている。医療依存度の高い入所申込者については、施設側の受け入れ態勢に課題がある。

・入所したい時期について、「今すぐ入所したい」との回答は44%で、半数に満たない。「当面は入所しなくてよい」との回答も38%あり、申込者によって希望する入所時期に開きがあることがわかった。

特別養護老人ホームは、入所の声掛けをおこなっても、入所につながらないケースが多く、調整に苦慮していると聞いていた。入所の意向がないにもかかわらず、声掛けの対象となっていたことになる。

・すぐに入所を希望しない理由として、「自宅での生活を続けられる」と回答した方が19%、入所型のサービスを利用している又は利用予定の方が46%であった。このように回答した方は、現在の状況で安定して生活できていることがわかる。

・「入所申込者や家族が希望していない」「先々のため」と回答した方は20%であり、この方々は現段階では入所の意向はない方と考えてよい。

・調査集計から、「今すぐ」「3か月後」「半年後」特養に入所したい人を合わせた55%が、入所待機者実態と言えるのではないかと。

・市内特養とやすらぎの里を合わせた11施設で、1年間に約200人の入退所がある。

・市が年2回行っている特養入所申込者集計を参考資料のとおり経年で比較すると、入所申込者数

は年々減少している状況である。

・変更届や辞退届について「知らない」と回答した方が 44%であり、入所を望んでいても変更届の認知度が低く、申し込み以後施設に状況や情報を届けていない方が多いこともわかった。

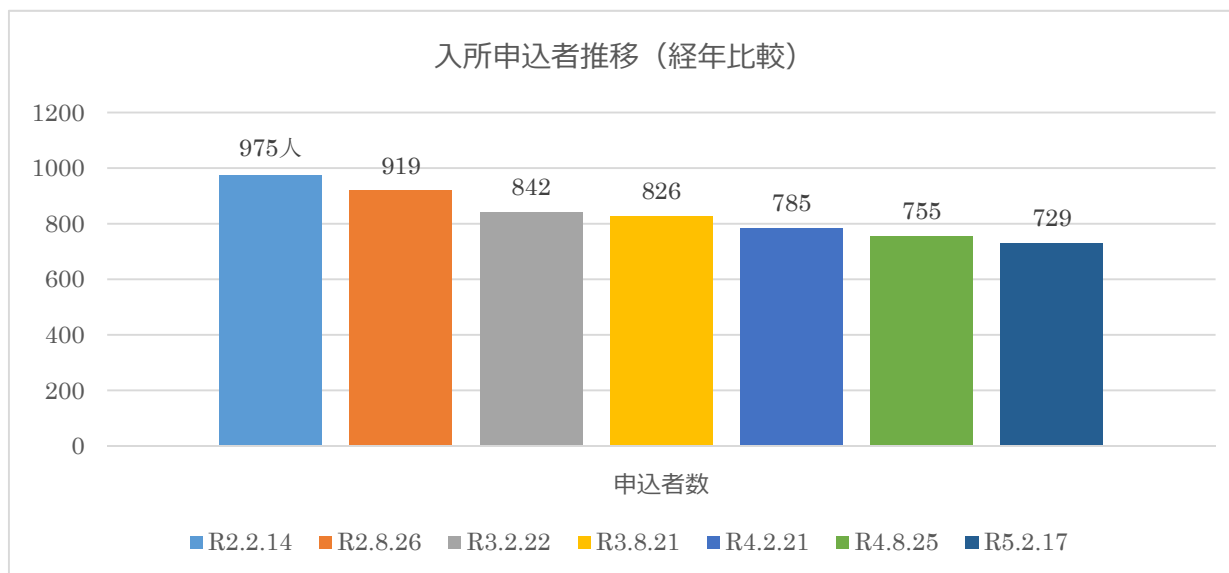
・市はこの調査結果を受けて、特養入所を必要としている方を速やかに入所につなげられるように、次のことを行っていく必要がある。

- ① 当面入所しなくてよいと考えている方に対しては、必要になった時期に申し込みを行うように促していく。
- ② 施設と協議し入所指針の入所申込書の様式を改正する。（「入所希望時期」の項目を追加）
- ③ 介護支援専門員の協力を得ながら、変更届や辞退届を周知し、積極的に活用するよう働きかける。

【参考資料】

特養入所申込者集計表（R5.2.17 現在）

	グループホーム	ケアハウス	特養措置入所	救護施設	居所あり	高専賃	在宅	障がい者施設	転出	病院	有料老人ホーム	養護老人ホーム	老健	その他の施設	総計		割合%
要介護1	4	1	0	0	4	1	28	0		1	5	3	14		61	特例入所	8
要介護2	14	1	0	0	4	4	58	0		2	4	4	22		113	174	16
要介護3	28	2	0	1	8	4	122	5		11	17	6	50		254		35
要介護4	7	0	0	1	8	6	79	2		12	12	1	43		171		23
要介護5	1	0	0	1	7	5	63	2		16	5	2	28		130		18
総計	54	4	0	3	31	20	350	9	0	42	43	16	157	0	729		



年間増減	0		-133		-57		-56
前回増減	0	-56	-77	-16	-41	-30	-26
集計日	R2.2.14	R2.8.26	R3.2.22	R3.8.21	R4.2.21	R4.8.25	R5.2.17

特養入退所状況 (H28-R3)

法人名	施設名	開設日	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度			
			入所者数	退所者数	入所者数	退所者数	入所者数	退所者数	入所者数	退所者数	入所者数	退所者数	定員	(増入人数)	入所者数	退所者数
中越老人福祉協会	やすらぎの里	S55.6.27	16	18	14	7	17	16	23	23	22	18	100	(48)	16	18
柏崎刈羽福祉事業協会	むつみ荘	H2.7.1	11	14	22	29	21	25	31	19	22	28	115	(99)	34	31
	しおかぜ荘	H12.1.1	8	8	31	11	12	14	13	13	15	14	70	(70)	14	15
	なごみ荘	H15.7.1	20	24	17	17	20	18	17	18	34	30	80	(76)	24	24
湊山会	いこいの里	H7.10.1	21	16	16	18	5	20	6	18	34	16	80	(80)	23	22
	柏柳の里	H9.4.1	17	17	22	21	3	14	27	17	15	18	70	(70)	25	21
	くじらなみ	H19.7.1	19	18	21	19	21	21	21	24	28	27	80	(80)	26	26
	ペペ・メメール	H26.7.1	40	30	31	27	19	34	40	34	27	19	100	(100)	24	21
	たんねの里	H23.4.1	10	10	9	9	6	6	10	11	8	7	29	(29)	2	3
西山刈羽福祉会	にしかりの里	H7.8.1	7	10	9	9	14	6	4	9	18	16	80	(40)	13	14
	はやまの里	H26.4.1	5	4	8	8	6	6	3	3	11	13	29	(29)	9	9
合計			174	169	200	175	144	180	195	189	234	206	833	(721)	210	204
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩			⑪	⑫
					年間平均入所者数		年間平均退所者数									
					平成28-令和3年度		平成28-令和3年度									
					((①+③+⑤+⑦+⑨+⑪)/6)		(②+④+⑥+⑧+⑩+⑫)/6									
					193		187									